

(様式 1 - 3)

檜葉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	13	事業名	木戸川鮭ふ化施設復興整備事業		事業番号	G-2-2
交付団体		檜葉町	事業実施主体 (直接/間接)		檜葉町 (直接)	
総交付対象事業費		21,060 (千円)	全体事業費		21,060 (千円)	
事業概要						
<p>檜葉町中央部を東西に流れる木戸川では、町内唯一の水産業として鮭ふ化施設において国内有数の鮭稚魚の放流 (14,203 千匹) 及び捕獲 (84 千匹) 事業を実施してきた (いずれも平成 21 年度実績)。また、同河川で実施していたサケ有効利用調査は、全国でも珍しく多くの釣り愛好者が訪れるなど観光資源としての役割も果たしていた。</p> <p>しかし、東日本大震災の津波により当該施設は甚大な被害を受けるとともに、その後の原子力災害により町全域が警戒区域に設定され、その後避難指示解除準備区域に再編されるも今なお避難を余儀なくされ、放流事業が再開できないことから、4 年で帰還する鮭の遡上数が来年以降激減することが見込まれている。そのため平成 27 年秋の採卵及び平成 28 年春の稚魚放流事業等の再開を目指し、木戸川鮭ふ化施設の整備のための基本設計及び実施設計を実施する。(※工事費については、福島再生加速化交付金で要望予定)</p> <p>【檜葉町復興計画第二次】</p> <p>取組名 1 : 農林水産業の再生と新たな展開 (取組内容 : 鮭のふ化や鮎の飼育の再生)</p> <p>取組名 2 : 観光産業の復活 (取組内容 : 観光施設等の再生・活性化)</p>						
当面の事業概要						
<平成 26 年度>基本設計・実施設計						
東日本大震災の被害との関係						
東日本大震災により当該施設は甚大な被害を受けるとともに、その後の原子力災害により放流事業が再開できず、今後遡上数の大幅な減少が見込まれており、事業再開に向け一刻も早い整備が必要である。						
関連する災害復旧事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	